

市民に親しまれている大分川の堤防(ていぼう)上には、「自然とのふれあい」と、野鳥案内板が5か所に立っています。探鳥(たんちょう)場所は案内板のある上下流域(りゅういき)が観察に適しています。

- ①舞鶴(まいづる)橋上流の左岸…カモ類やカモメ類が身近にみられます。
- ②米良(めら)川の合流点…水辺の鳥と山野の鳥が多くみられるので最も観察に適しています。
- ③大分刑務所の裏(うら)…七瀬川合流点付近が観察

に適しています。

④賀来(かく)川合流点…小さい中州(なかず)や瀬(せ)、淵(ふち)があっていろんな鳥がみられます。

⑤植田(わさだ)西中学校前のせき…自然環境がよく多くの鳥に出会えます。

年間をとして多くの鳥が生息していますが、水辺の鳥が中心になります。探鳥時期としては冬鳥のカモ類やカモメ類などが飛来する10月から、夏鳥のオオヨシキリなどが飛来する5月までの間がよいでしょう。シギ・チドリ類は春と秋の渡(わた)りの時期によくみられます。

Oitagawa Karyuiki

大分川
下流域